



雨の日の朝の光景

今週は雨の日が多く、朝のボランティアをしてくれる子供たちも「雨は外でボランティア活動ができないので、テンション下がります。」と言っていました。そんな雨の日の朝です。校長室で仕事をしていると、雨の音に紛れて子供たちの声が校長室前の階段から聞こえてきました。声の主は、5年生の子供たちでした。子供たちは箒や雑巾を手に、階段清掃のボランティア活動をしていました。「ありがとう!」と声を掛けると、「楽しいです!」という返事があり、次々とボランティアに参加する子供たちの輪が広がっていきました。



子供たちの自発的な行動に感謝するとともに、朝のボランティア活動を楽し気に取り組んでいる子供たちの姿が誇らしくなりました。

一気に暑くなりました!

昨日2日(火)は、午前の段階で気温は31度を上回り、前日との気温の差もあり、とても危険な気温と判断しました(右表参照)。これは、熱中症への予防対策として、運動は原則中止のレベルとなっています。そこで、昨日は、昼休みに運動場での運動を中止としました。遊び盛りの子供たちには本当に申し訳なかったのですが、走ったり激しく動いたりして体温が上がるような行動はしないよう、放送で呼びかけました。ただ、帯西では、静かな生き物ブームが起きています。虫や爬虫類の生き物を探すことに夢中になっている子供たちもいます。そこで、運動場に出る用事がある場合は、歩くなど静かな行動をとり、帽子を必ず被って10分おきに水分をとるようにして、運動場に出ることにしました。これから気温はさらに上がることが予想されています。熱中症にかからないように一人一人が考えて行動することも大切です。

WBGTによる温度基準域	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安安静態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 28℃以上 31℃未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25℃以上 28℃未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 25℃未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.4

新札の秘密

今日3日(水)から新しいお札が発行されます。1万円札、5千円札、千円札の3種類が生まれ変わります。そもそも、お札に人物の顔が使われるのはなぜだと思いますか? それは、人間は人の顔を見分けることに慣れているため、お札の肖像画がほんの少しでも違っていると、違和感が生まれます。最大の理由は偽造防止のためです。2023年に見つかった偽札は、681枚だそうです。偽札の発見枚数は、1999年から急増し、ピークだった2004年は2万5858枚も見つかっています。これは、パソコン、スキャナー、プリンターなどの性能が上がり、偽札づくりの技術が高度化したためです。そこで、国は約20年ごとに新札を発行しています。今回も肖像を変更し、偽造防止のための最先端の技術が盛り込まれています。

